



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話 03-5315-0941

2022年12月20日

第743号

発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子

毎月1回20日発行/一部20円
(組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>



健康に充分留意して、
年末年始輸送を
「安全第一」で乗り越えよう！

釜石線

※八戸線851人/飯山線576人/陸羽西線343人/陸羽東線
850人/大湊線533人/北上線306人/大船渡線754人/津
軽線452人/只見線271人/釜石線743人/米坂線373人/
気仙沼線232人/五能線597人/花輪線357人/山田線174
人(線区名/平均通過人員)



五能線

安易な赤字路線の廃止には反対！ 地域の足を守り、地域に貢献し、

みんなに親しまれる 鉄道をめざそう！

地域の足を守り、 職場と仕事と生活を守ろう！

国土交通省は「鉄道事業者と

地域の協働による地域モビリティ
の刷新に関する検討会」を開
催し、2022年7月に提言
が行われました。「守るものは
鉄道そのものではなく、地域の
足であるとの認識のもと、廃止
ありき、存続ありきという前提
を置かず協議する(検討会提
言)」という前提の中、ローカ
ル鉄道の在り方について議論が
行われました。検討会の提言で
は、①「対象線区における平常
時の輸送密度が1000人を下
回る(1時間当たりの最大旅客
輸送人員が500人以上の場合
を除く)②「複数の自治体や
経済圏・生活圏に跨る等の事情
から、関係者の合意形成にあた
って広域的な調整が必要」の要
件を満たす線区について、鉄道
事業者又は沿線自治体の要請を
受けて、協議会を設置し、最長
でも3年以内に沿線自治体と鉄
道事業者が合意の上、対策を決

定すべきとされています。

JR東日本が第1回検討会で公表した平均
通過人員が1000人/日未満は、新型コロナ
の影響が軽微な2019年度でも、15線区
が該当することがわかりました。そし
て12月13日のJR東日本の定例記者会見で社
長は、「年明け以降、個別に各自治体のみな
さんと話し合いの場をつくっていききたい」と
述べ、一斉に協議会が立ち上がるわけではな
く、個別に各自治体と具体的な形をつくって
いくと説明したと報道されています。

国鉄改革のスキームを堅持し、 安易な赤字路線廃止には反対！

JR東労組は、「職場と仕事
と生活を守る」ことが労働組合
の任務であり、責務だと考えて
います。東日本大震災で被災し
た線区を踏襲して残すために、地
域の方々と共に要請行動などを
つくり出し、JR山田線は三陸
鉄道への移管ではありません
が、鉄路での復旧を待ち取って
きた教訓的なたかひがあります。
このたかひによって、地
域の足を守り、職場と仕事と生
活を守ってきました。

JR東日本が第1回検討会で公表した平均
通過人員が1000人/日未満は、新型コロナ
の影響が軽微な2019年度でも、15線区
が該当することがわかりました。そし
て12月13日のJR東日本の定例記者会見で社
長は、「年明け以降、個別に各自治体のみな
さんと話し合いの場をつくっていききたい」と
述べ、一斉に協議会が立ち上がるわけではな
く、個別に各自治体と具体的な形をつくって
いくと説明したと報道されています。

12月19日、JR東日本盛岡支社は、8月の
大雨で被災し運休している津軽線・蟹田一三
厩間について、廃線も含めた協議を年明け以
降行っていく考えを示しました。1日当たり
の利用者数が約100人と利用者が少なく赤
字で「大量輸送のメリットを発揮するのは困
難(盛岡支社長)」と述べ、バスへの転換な
ど、持続可能な交通体系のあり方を相談する
としています。今回、国が主導して設置する
協議会とは異なりますが、協議には、JR東
日本、青森県、沿線2町の他に、国土交通省
東北運輸局にも参加を求めているということ
です。地方新聞では、「沿線2町は揃って鉄
道維持、早期復旧の立場を鮮明」「地元関係
者は、JR東日本が廃線も選択肢に含めたこ
とに危機感」と報道されています。

現在、人口減少やマイカー移動等により鉄
道利用者数は大きく減少し、鉄道会社は経費
削減、駅の無人化や列車の減便・減車などの
推進を行い、利便性の低下によりお客さま二
ーすとの乖離が生じ、更なる利用者数の低下
という負のスパイラルによってローカル鉄道
は危機的状況に陥りました。検討会では、鉄
道会社は地方ローカル線を経営の重荷としか
見ていないのか、地方自治体は事業者まかせ
ではないかという現状の問題意識が議論され
ました。実際に、この負のスパイラルによっ
て、地域の足が失われ、私たちの働く場が失
われていく状況が生み出されてしまうので

今後、各地方においてローカル鉄道の在り
方について議論する協議会などの発足、議論
が行われていくことが想定されます。安易な
赤字路線の廃止は、私たちの雇用問題につな
がるだけでなく、地方衰退と地域の反感を招
くものです。赤字転換を果した今だからこ
そ、JR発足時の「内部補助」というスキ
ームのもと、地方だけのことと捉えてはなら
ないのではないのでしょうか。住民・利用者・社
員が納得し、親しまれる鉄道をめざしていく
ために、JR東労組として取り組んでいきま
しょう！

現在、人口減少やマイカー移動等により鉄
道利用者数は大きく減少し、鉄道会社は経費
削減、駅の無人化や列車の減便・減車などの
推進を行い、利便性の低下によりお客さま二
ーすとの乖離が生じ、更なる利用者数の低下
という負のスパイラルによってローカル鉄道
は危機的状況に陥りました。検討会では、鉄
道会社は地方ローカル線を経営の重荷としか
見ていないのか、地方自治体は事業者まかせ
ではないかという現状の問題意識が議論され
ました。実際に、この負のスパイラルによっ
て、地域の足が失われ、私たちの働く場が失
われていく状況が生み出されてしまうので

JR東労組は、安全を大前提に、地方ローカル線に対して次の姿勢で取り組んでいきます。

- ①「安易な赤字路線の廃止には反対」します
- ②「地域の足を守ること」と「地域に貢献すること」を軸に据えます
- ③協議会が設置された場合、どのような結論でも「みんなに親しまれる鉄道であること」をめざします

地域住民や議員と連携して、取り組んでいこう！

早いもの
で2022
年も気づけ
ばもう年の
瀬となっ
た。この時
期の風物詩の一つに、その1
年の世相を表す「今年の漢
字」が、「戦」に決定した▼
今年2月から続いているウク
ライナ侵攻や、北朝鮮の相次
ぐミサイル発射などによって
「戦争」を意識することが増
加したことが主な理由として
挙げられたそうである。ワー
ルドカップでの日本代表の
「戦い」もあったが、物価高
や長引く新型コロナの流行な
どで身近な生活でも「戦い」
が続いていると感じている人
が多いことも決定した理由と
なっている▼そのような中、
今の日本を見ると、敵基地攻
撃能力の保有を今月16日に安
保関連3文書の改訂で行う
等、憲法改正、「戦争」ので
きる国づくりが着々と進めら
れている。まさしく今年の漢
字になった「戦」が本場にす
ぐそばまで来ている状況を私
たちは改めて自覚しなければ
ならない▼平和で安心して暮
らせる社会をつくるために今
私たちに出来ることは何か。
一人ひとりが考える行動して
いくことが今一番重要なこと
はないだろうか。2023年の
漢字は平和の「和」となる
ように、一人ひとりが声を
上げ行動しよう！(H・E)



12・3全日本代表者会議で地方ローカル線について議論をする



早いもの
で2022
年も気づけ
ばもう年の
瀬となっ
た。この時
期の風物詩の一つに、その1
年の世相を表す「今年の漢
字」が、「戦」に決定した▼
今年2月から続いているウク
ライナ侵攻や、北朝鮮の相次
ぐミサイル発射などによって
「戦争」を意識することが増
加したことが主な理由として
挙げられたそうである。ワー
ルドカップでの日本代表の
「戦い」もあったが、物価高
や長引く新型コロナの流行な
どで身近な生活でも「戦い」
が続いていると感じている人
が多いことも決定した理由と
なっている▼そのような中、
今の日本を見ると、敵基地攻
撃能力の保有を今月16日に安
保関連3文書の改訂で行う
等、憲法改正、「戦争」ので
きる国づくりが着々と進めら
れている。まさしく今年の漢
字になった「戦」が本場にす
ぐそばまで来ている状況を私
たちは改めて自覚しなければ
ならない▼平和で安心して暮
らせる社会をつくるために今
私たちに出来ることは何か。
一人ひとりが考える行動して
いくことが今一番重要なこと
はないだろうか。2023年の
漢字は平和の「和」となる
ように、一人ひとりが声を
上げ行動しよう！(H・E)